

先輩職員インタビュー

事務官（基準）



石川労働局
労働保険徴収室
（令和3年4月入省）

仕事をしている中で大変なこと

労災保険の給付業務で大変なことは、一口に「労災」と言っても被災状況により様々なケースがあり、症状や状態により多方向からの検討が必要なことです。認定までには長期間かかる場合もあり、忍耐強さと責任感を持ち、請求者に対して丁寧な説明をしながら処理を進めていくことが大切です。

また、徴収業務では保険料を滞納している事業主の実情に合わせた計画を立てるだけでなく、しっかりと履行させることが必要です。なかなかうまく納付につなげられないこともあります。ここでも根気よく向き合う姿勢が必要です。

いずれの場合も、悩んだときは自分の考えを整理したうえで上司や周りの先輩方に相談してアドバイスをいただき、解決につなげています。

受験生へのメッセージ

労働局は仕事と私生活が両立しやすく、職場は穏やかな雰囲気非常に働きやすいと感じています。また、業務をするなかで専門的な知識が身につくため、社会人としての成長を日々感じる事が出来ます。

労働局では、優しく暖かい先輩方や頼りになる同期がたくさん出来ると思います。私も皆さんと一緒にお仕事出来る日を楽しみにしています！